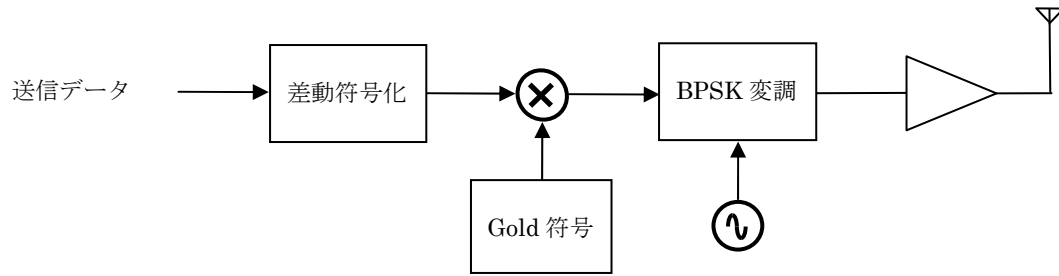


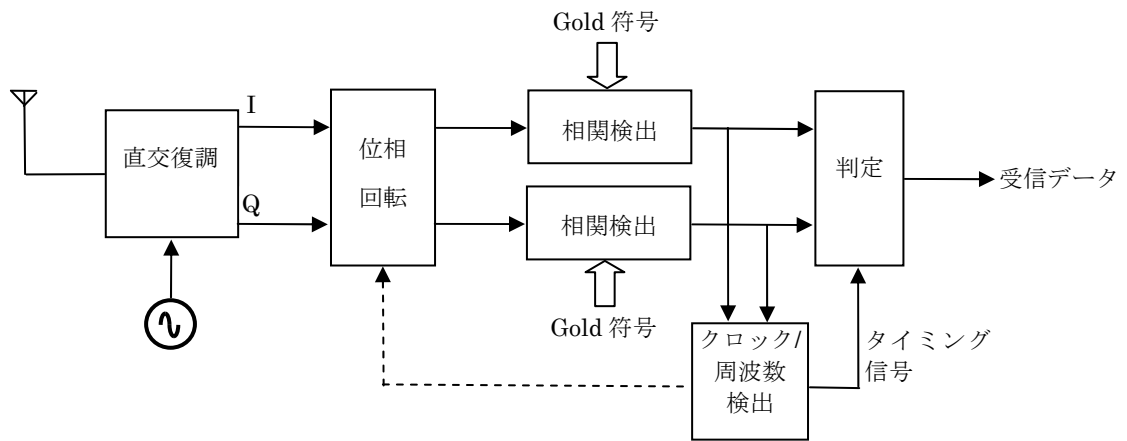
拡散・逆拡散回路

Doc-No.RF150821001

全体ブロック構成

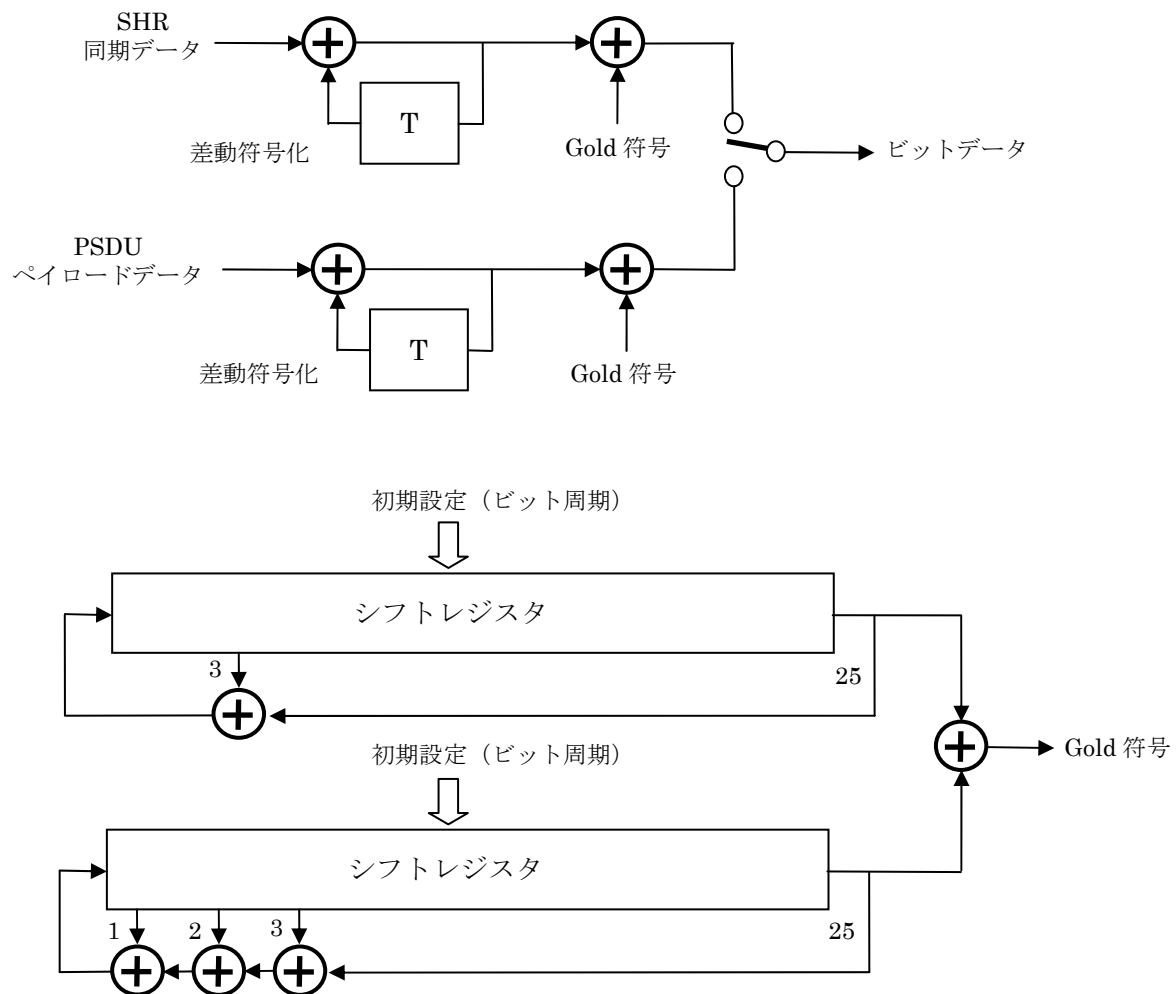


送信ブロック概略



受信ブロック概略

拡散回路

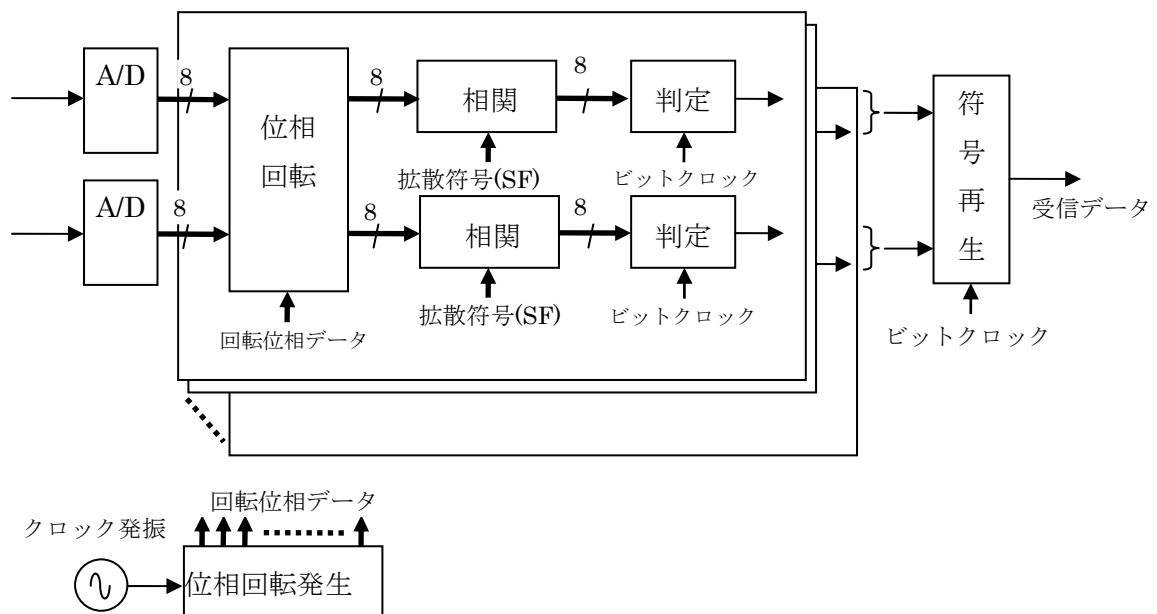


拡散操作は1ビットに拡散率 (SF) ビットの Gold 符号が割り当てられる。

SF=16~256 (2の整数乗)

Gold 符号のシフトレジスタはビット速度の SF 倍のチップ速度でシフトされることとなる。

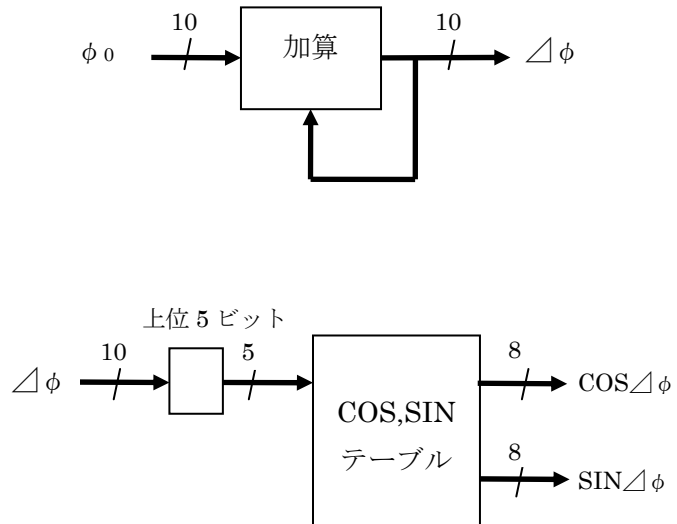
逆拡散回路



複数ある相関検出出力のなかで、最も相関値の高い相関検出回路に供給されている位相回転が周波数同期検出した周波数に相当する。

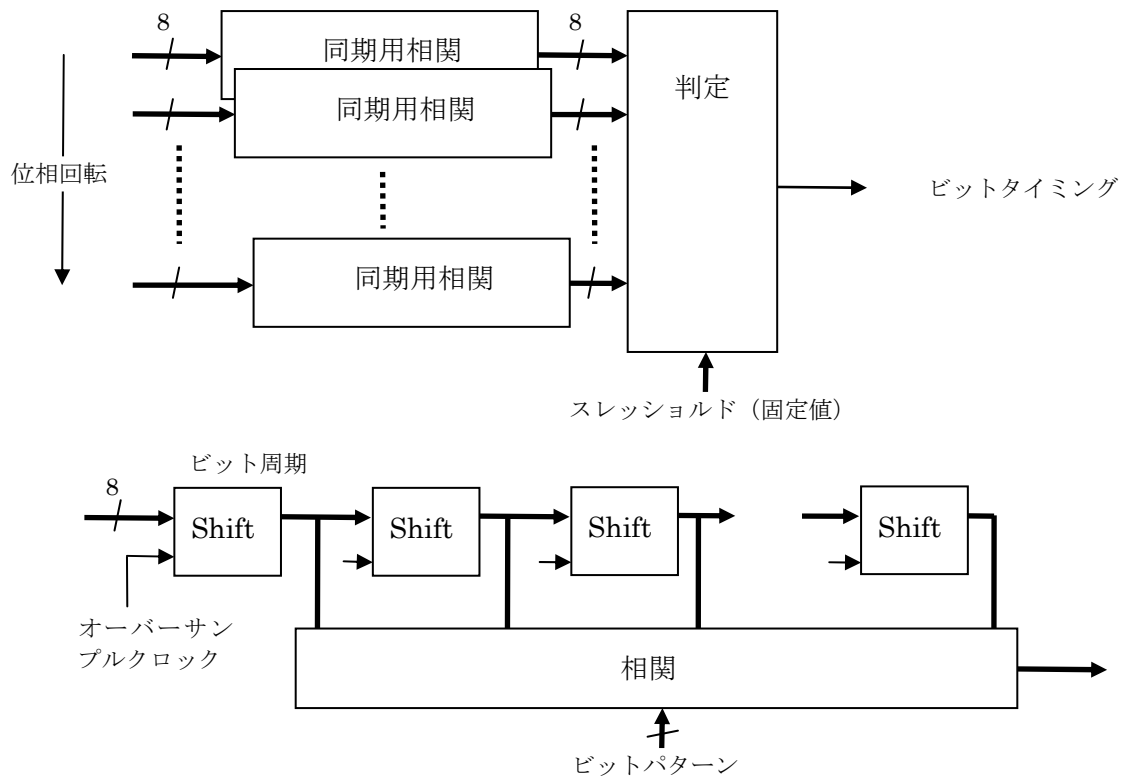
相関値を求める際に、チップ速度の整数倍（2～8）のオーバーサンプルによりサンプルされる。

位相回転回路



COS,SIN テーブルは 2 の 5 乗である 32 個の値を持つ。

ビットクロック再生



Shift はビット周期の長さであるため、オーバーサンプル数×拡散率の段数となる。

ビットパターンは数ビット (2~10) となる。

判定用スレッシュホールド設定

相関値からデータを判定するためのスレッシュホールド値を固定とするか、自動設定とするか未定。

自動設定時は相関検出出力最大値を求めて、一定比率値をスレッシュホールド値とする。